資料１

つづくを、つなぐ。

令和６年度第3回
柏市保健衛生審議会健康増進部会

令和６年１２月１９日

柏市健康医療部　健康増進課

柏市
KASHIWA CITY

〈目次〉

１．前回部会での主なご意見・・・・・・・・・ P.２

２．協議事項１

（1）計画本編（案）について ・・・・・・・ P.３ 【資料２・３】
（2）健康目標値について ・・・・・・・・ P.８ 【資料４】

３．協議事項２

（1）概要版について・・・・・・・・・・・・ P.12 【資料５】

前回部会（10月10日開催）での主なご意見

資料２ 参照

つづくを、つなぐ。

ライフコース	・人が生まれ，育ち，働くという人生の流れ，人生全体を捉える視点であること ・「人生」「生涯」などの分かりやすい表現が必要である ・自分事としての一生涯を考えられる大事なキーワードになるため，市民が自分自身の人生のこととして考えられるような表現にしてほしい
ライフステージ	・ライフステージとして一括りにせず，取組を考え，人それぞれに多様な生き方や人生があることを明記する ・その人の人生のあり方に寄り添った形で，健康づくりの機会を持てるように支えていくことが必要である
女性の健康	・女性は男性に比べて，就業・結婚・出産などライフコースの多様性があり，ライフステージごとの影響を受けやすい ・女性の健康を社会全体の課題として捉えていく必要がある

協議事項１：計画書本編について　【全体構成】

つづくを、つなぐ。

第1章　計画の策定にあたって 1

1 計画の趣旨 3
2 計画の位置づけ 4

第2章　柏市の健康を取り巻く状況 5

1 人口動態 7
2 第1次柏市健康増進計画の概要 12
3 各種調査の概要 13
4 第1次柏市健康増進計画の最終評価 14
5 柏市の課題整理 34

第3章　第2次柏市健康増進計画の基本的な考え方 35

1 計画期間 37
2 計画の策定体制 37
3 基本理念 38
4 基本目標 38
5 基本目標に対する指標 39
6 基本方針 40
7 施策の展開に向けて 42

第4章　施策の展開 49

1 栄養・食生活 51
2 身体活動・運動 56
3 睡眠・休養・こころの健康 59
4 飲酒・喫煙 64
5 歯と口の健康 68
6 発症予防・健診・重症化予防（糖尿病・循環器・がん） 70
7 女性の健康 75

第5章　計画の推進に向けて 79

1 計画の推進体制 81
2 計画の点検・評価・見直し 81

第6章　食育推進計画 83

1 計画の策定にあたって 85
2 柏市の食を取り巻く状況 88
3 柏市食育に関するアンケート調査 93
4 柏市の課題整理 97
5 基本理念と基本目標 98
6 施策の展開 100
7 ライフステージでみる取組 121
8 計画の推進体制 122

資料編 125

1 健康目標値一覧【健康増進計画】 127
2 健康目標値一覧【食育推進計画】 135
3 計画の策定経過 138
4 策定の体制 139
5 用語解説 141

柏市 KASHIWA CITY

協議事項１-（1）計画書本編：事前意見１

資料２・３参照

つづくを、つなぐ。

第４章　各分野	
事前のご意見	・本計画では「地域特性を踏まえた健康づくり」が基本方針に含まれているので，第４章の各分野において，それに関連する取組み方針が記述されるとより良い思う
事務局案	「地域特性を踏まえた健康づくり」については，１次計画にはなかった新たな視点として，基本方針の柱のひとつに掲げました。 各論としての各重点分野には記載しませんが，取組みを検討していく際には，このことをしっかりと踏まえた上で，健康づくりを進めていくこととします。

協議事項１-（1）計画書本編：事前意見２

資料２・３参照

つづくを、つなぐ。

第４章　女性の健康	
事前のご意見	・「女性は結婚や出産などの人生の節目ごとの影響を…」について，多様性の時代であること，また結婚や出産以前の若い世代から健康を意識してもらいたいことから，１行目に「結婚」「出産」とするのではなく，女性の身体的特徴であるホルモンの変化を述べるとともに，育児や介護など社会的特徴を加えてはどうか
事務局案	女性は，年齢とともに女性ホルモンが変化し，妊娠・出産や婦人科系の疾患等，女性ならではの健康問題にも配慮する必要があります。女性の身体的，心理的な特性を踏まえた視点を取り入れた包括的な健康支援が求められています。 社会的な視点としては，育児や介護などを主に担っている女性の場合，大切なことだと理解していても，自身の健康の優先順位を下げざるを得ない状況もあります。女性の健康を，女性だけの問題とせず，社会全体の問題として捉えていくことが，課題解決に欠かせない視点であると考えます。

協議事項１-（1）計画書本編：事前意見３

資料２・３参照

第５章　計画の推進に向けて	
事前の ご意見	・【計画の推進体制イメージ】絵の中に「町会・自治会・区」もあると良いのではないか。 市民の認識としてはふるさと協議会とは別の組織イメージである。

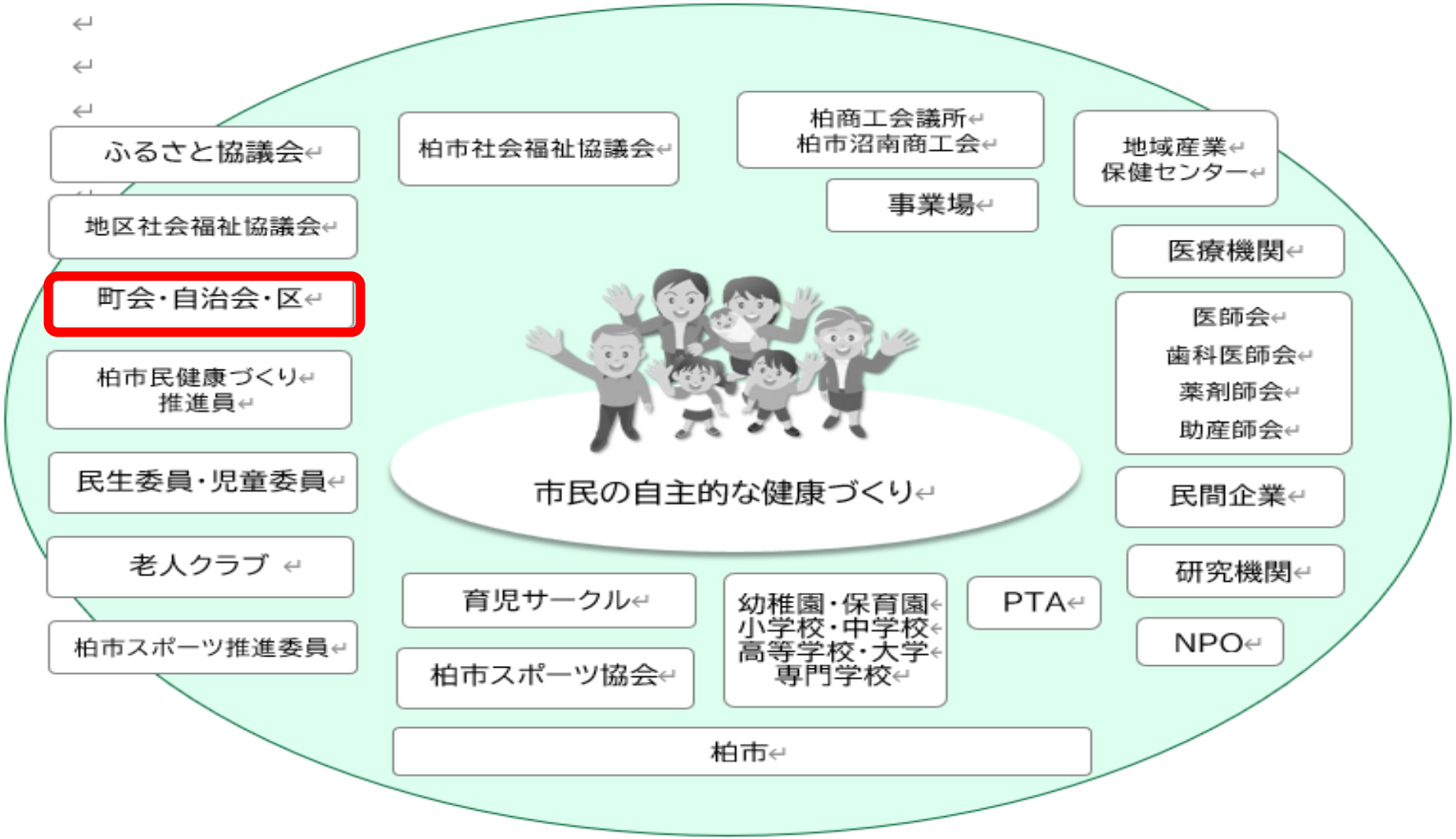
協議事項１-（1）計画書本編：事前意見３

資料２・３参照

つづくを、つなぐ。

【事務局案】

新たに追加しました



協議事項１-（2）健康目標値について

資料４ 参照

つづくを、つなぐ。

重点分野	指標	再掲）環境に関する指標
栄養・食生活	**９項目**	**２項目**
身体活動・運動	**５項目**	**２項目**
睡眠・休養・こころの健康	**７項目**	**４項目**
飲酒・喫煙	**３項目**	**１項目**
歯と口の健康	**３項目**	**１項目**
発症予防・健診・重症化予防	**１４項目**	**２項目**
女性の健康	**１３項目** ※うち７項目は再掲	**１項目**
合計	**５４項目**	**１３項目**

【健康目標値設定の考え方】

①年齢調整は行わない
②１次計画で目標を達成できていない場合，１次計画の数値を採用する
③新たな指標については，国・県を参考として設定する
④重点ターゲットである青壮年期・女性への取組を評価するため，性別・年齢層ごとに区分して数値を設定する

【◆参考◆】
第１次計画
健康目標値：１４６項目

柏市 KASHIWA CITY

協議事項１-(2)健康目標値：事前意見１

資料４ 参照

栄養・食生活

事前のご意見	・「65歳以上のBMIが20.0以下の割合」について，「日本人の食事摂取基準（2020年版・2025年版）」では、65歳以上のBMIの下限が「21.5」となっているが，「20.0」のままでよいか
事務局案	65歳以上の高齢者の適正体重はBMI21.5～24.9であり， やせや低栄養を予防するため， 「21.5未満」を指標とします

１　健康目標値一覧

（１）栄養・食生活

指標			現状値（2024(令和6)年）	目標値（2034(令和16)年）
BMIが18.5以上25.0未満の人の割合※1	男性	20～39歳	67.2%	70%
		40～64歳	56.8%	65%
	女性	20～39歳	70.0%	75%
		40～64歳	65.1%	70%
BMIが21.5未満の65歳以上の人の割合※1	男性	65歳以上	30.4%	減少
	女性	65歳以上	45.2%	減少
小学生・中学生における肥満（標準体重＋20%以上）の割合※2		小学生	8.3%	減少
		中学生	9.6%	減少

協議事項１-（2)健康目標値：事前意見２

資料４ 参照

つづくを、つなぐ。

女性の健康

事前のご意見	・女性の健康について，計画書本編中では「こどもの預け先がないことが理由で健診の受診をあきらめたことがある人の割合」が女性のほうが高いことを強調しており，目標を達成するための取り組みの中でも，「女性が気軽に受診・相談できること」などをあげているが、健康目標値にそれらに対応する項目がないように感じる
事務局案	「過去１年間に健診等を受診した人の割合」を３区分（女性：２０～３９歳，４０～５９歳，６５歳以上）で追加します。

（７）女性の健康

指標		現状値（2024(令和6)年）	目標値（2034(令和16)年）
BMIが18.5未満の女性の割合※1	20～39 歳	13.0%	減少
過去1年間に健診等を受診した人の割合※1	20～39 歳	70.4%	85%
	40～64 歳	79.5%	85%
	65 歳以上	71.4%	85%

協議事項１-(2)健康目標値：事前意見３

資料４ 参照

つづくを、つなぐ。

女性の健康

事前のご意見	・子宮頸がん検診・骨粗しょう症検診の受診率の目標値をもう少し高くしたほうがよいと思う。
事務局案	・「子宮頸がん検診受診率」は，素案では２０～６４歳で算出していましたが，正しくは２０～**６９歳**でした。この年齢で算出すると現状値は５６.０%となります。

指標		現状値（2024(令和6)年）	目標値（2034(令和16)年）
子宮頸がん検診の受診率※1	20～69 歳	56.0%	60%

	現状値	目標値
２０～２９歳	３６．５%	増加
３０～３９歳	５７．７%	６０%

20歳～39歳の受診率を指標に追加します

・「骨粗しょう症検診受診率」については，柏市の健康課題として重要なもののひとつに上げられています。目標値については，検診受診の実績値をベースとして設定しました。
今後，力を入れて取組む方針があり，特に検診対象者ではない若い世代の女性が骨密度測定ができる機会も作り，若い時から骨粗しょう症予防への意識を醸成し，健康づくりの一環として取組めるように検討していきます。

指標	現状値（2024(令和6)年）	目標値（2034(令和16)年）
骨粗しょう症検診の受診率※2	22.9%	35%

協議事項２-(1) 概要版の考え方

資料５ 参照

- 『第２次柏市健康増進計画』の全体像・内容を簡潔に示すものとする
- 読みやすさ・見やすさを大切にする
- 今後，計画について市民に説明する際のツールとして活用する
- 中学生・高校生にも伝わるような，分かりやすい表現を用いる

概要版

第2次
柏市健康増進計画

2025(令和7)年度 ～ 2036(令和18)年度

《基本理念》
柏にかかわるすべての人が，
健やかで心豊かに暮らせまちを目指します
～一人ひとりが主役になれる，未来へつながる健康づくりの実践へ～

つづくを、つなぐ。

令和7年3月
柏 市

協議事項２-(1) 概要版：事前意見１

資料５ 参照

つづくを、つなぐ。

女性の健康

事前のご意見

・このページだけ単体で見た場合，
「目標」「現状」「取組」の順に目に入り，
10ページに掲載されている「目標」と
「取組」 が連動していないように見えてしまう
・目標①「やせの女性の減少」について，
「やせ」がどうして良くないかが分かりにくいように思う
・「目標」②「女性の運動習慣がある人の増加」を掲げてあるが，「取組」の内容が運動のことに触れられていないことに違和感がある
・目標に「こころ」の分野を入れたほうが良いのではないか

柏市 KASHIWA CITY

協議事項２-(1) 概要版：事前意見２

資料５ 参照

つづくを、つなぐ。

【事務局案】

重点分野７ 女性の健康

自分のからだとこころの変化に向き合おう

主な目標

① 「やせ」「低栄養」の女性の減少

【指標】BMIが18.5未満の女性の割合の減少（20～39歳）

【指標】BMIが21.5未満の65歳以上の女性の減少

② 女性の運動習慣がある人の増加

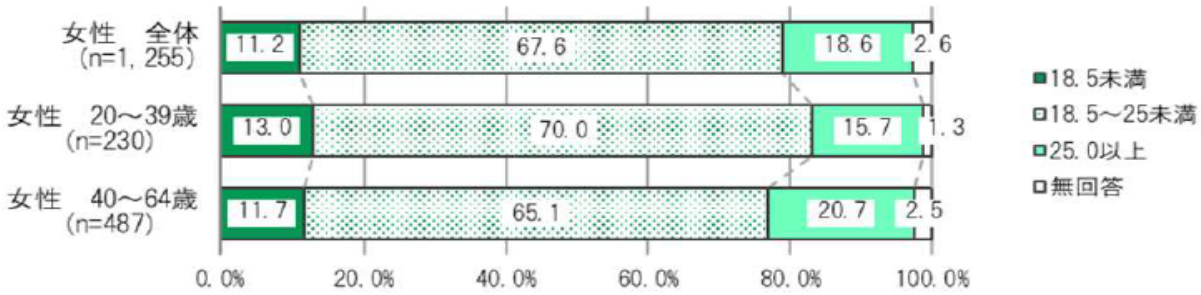
【指標】1回30分以上の運動を1週間に1回以上行い，かつ1年以上継続している人の割合の増加

③ 相談できる人がいる女性の増加

【指標】本当に困ったときや悩みがあるとき，相談できる人がいる女性の割合の増加

現状 2024年

<BMI(女性20～64歳)>



取組

胎児期 （妊娠中・授乳中）	0～19歳 （乳幼児期・学童期・思春期）	20～39歳 （青年期）	40～64歳 （壮年期）	65歳以上 （高齢期）

つづくを、つなぐ。

市民

・女性特有の心身の変化について理解を深め，ライフプランニングについて理解しましょう
　自ら対処できる方法，セルフケアの方法を身につけましょう
・心身の不調時にはためらわずに，自ら相談・受診しましょう
・かかりつけ医を作りましょう
・自分の適性体重を知りましょう
・日常生活の中で身体を動かす機会を作りましょう
・やせや貧血による健康リスクを知りましょう
・健康な骨づくり，骨粗しょう症の予防のポイントを学び，生活習慣に取り入れ，実践しましょう

・妊産婦は飲酒・喫煙をやめましょう

・受動喫煙をしない・させないようにしましょう

・月経に伴う症状への対処方法を学びましょう
・望まない妊娠を防ぐ対処方法を学びましょう

・子宮頸がん検診（20歳以上）・乳がん検診（30歳以上）を受診しましょう

・骨粗しょう症検診（40歳以上）を受診しましょう

市・関係機関

- 女性が気軽に受診・相談できる窓口の周知・体制づくりを行います。
- 将来の妊娠を考え健康な身体とこころを整えることへの知識と理解を促進します。
- 未就学児を育てている女性が健診を受けやすい環境整備，被扶養者の女性が健診にアクセスできるような情報発信を行います。
- 「子ども」×「母親」をターゲットとするイベントや事業等と連携することにより，子育て中の母親が自身の健康に関心を持てる機会を増やします。
- 医療関係団体，助産師会，多職種連携を活用して，女性への働きかけを強化します。
- 学校と連携した取組や，職域と連携した取組を強化します。

【参考】今後の予定

令和６年 １２月１９日(木)	第３回健康増進部会（素案最終確認）
令和６年１２月末 ～令和７年１月末	パブリックコメント
令和７年 ２月６日(木)	第４回健康増進部会：答申 （パブリックコメントの意見確認，計画確定）